

## 【オリジナルティーチングプラン】

### 自分の思いや考えを表現できる児童の育成を目指す新聞を活用した教育の実践

守谷市立松前台小学校

#### 1 はじめに

本校は、平成26年度よりNIEの指定校として、新聞を活用した教育に取り組んできた。しかし、日常的に一般紙を読んでいる児童は限られており、新聞を購読していない家庭も約3割という状況にあったため、新聞が児童の身近なものにならないという課題があった。そこで、小学生対象の新聞3誌を4年生から6年生に購読し活用することで、研究のテーマである「自分の思いや考えを表現できる児童の育成」に迫りたいと考えた。

#### 2 実践内容

読む

- (1) 新聞コーナーの設置（4年生、5年生、6年生）

対象学年のオープンスペースに新聞ラックを用意して、新聞が身近にあるいつでも手にとって読むことができる環境をつくった。



新聞ラック

- (2) 1分間スピーチに新聞記事の導入（5、6年生）

朝の会の中で進めている1分間スピーチに新聞記事を導入し、自分が気になる記事、それに対して自分の考えを発表した。

考える

- (3) 新聞スクラップの継続（6年生）

気になる記事をノートに貼付し、自分の考えをまとめた。ノートは週に1回提出する新聞スクラップを継続してきた。



新聞スクラップ

- (4) 言語活動「えんぴつタイム」の活用（4年生、5年生、6年生）

全校で取り組んでいる「えんぴつタイム」の時間に、新聞記事を読んで感じたことを文章に書いてまとめた。他学年の作品も読めるよう昇降口に掲示した

表現する

- (5) 授業の実践（5、6年生）

##### ①新聞社による出前授業

茨城新聞社から講師を迎えて、5年生6年生を対象に新聞の読み方や新聞記事の書き方をテーマにした出前授業を行った。



6年生の新聞づくり学習

##### ②国語科における授業

ア 6年生「町の未来をえがこう」：町の幸福論～コミュニティデザインを考え新聞に書く  
守谷市の未来について考え、自分たちがえがく町づくりについて新聞にまとめる。

イ 5年生「伝えよう委員会活動」：新聞を書く

4年生に自分たちの委員会活動について伝えるために1枚の新聞にまとめる。

#### 3 成果と課題

新聞を読むことが児童にとって身近になり、記事から自分の考えがもてるようになったことは大きな成果である。4月に実施した全国学力・学習状況調査においても、活用力を問う国語B問題で県平均比前年度より+13.6点と上昇した。分析からも、新聞教育の成果であることが明確である。今後は、新聞を活用した学習を継続することで、表現力の向上を図っていきたいと考えている。